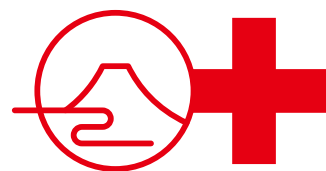


赤十字しずおか'

Japanese Red Cross Society SHIZUOKA



2022
VOL. 131

人間を救うのは、人間だ。

いのちと健康
尊厳を守るを
つづける。

静岡県支部では、コロナ下でも活動を継続。

感染対策を徹底して

「いのちと健康、尊厳を守る」ための事業を展開しています。

赤十字を支えるボランティア、

有功会なども活動を再始動しました。

感染対策を徹底して、 活動をつづけています!!

WITH
コロナ

現在、徐々にマスク着用は緩和されていますが、静岡県支部は、「不織布マスクの着用」「手指消毒の徹底」「体調チェック票の提出(体温測定)」「密の回避」「こまめな換気」「講習で使用する器材の消毒」など、基本的な感染対策を徹底して、参集型で各種事業を開催しています。

水上安全法救助員養成講習を開催

水の事故を防ぐ!

水の事故を防ぐ知識と技術を学ぶ講習を、5月から県下各地で開催しました。検定に合格した約40人は、プール等で監視活動を行います。



◀ 静岡県支部が行う救急法等の講習日程はこちらから

日赤静岡 講習



静岡県支部評議員会を開催

県民の期待に応える!

令和3年度の事業及び歳入歳出決算について審議する評議員会を、6月9日に開催しました。監査委員からは、「支部・病院・血液センターが一体となって事業を実施し、会員をはじめとする県民の赤十字への期待に応えている」「各施設の歳入歳出決算は適正に表示されている」との報告があり、評議員により令和3年度の事業・決算が承認されました。

青少年赤十字(JRC)指導担当者研修会を開催

JRCの歴史をつくる!

JRCは今年で創設から100年を迎えました。「つなぐ、つづける、つくる」をキーワードとして次の100年に向け活動を展開しています。6月10日の研修会では、JRCの更なる活性化のために各校の取組について情報交換を行うほか、下校中に地震が発生したと想定し、起こりうる状況に対応する防災ゲーム「いえまですごろく」を体験しました。



毛布を使って溺者を搬送する実技



前回は文書審議で行われた評議員会



参加者が協力しながらゴールを目指す

水の事故からいのちを守るポイント



水遊びの前に

- ✓ 子ども一人で行かせない、子どもの健康状態を確認する
- ✓ 事前に気象、海象情報を確認する
- ✓ ライフジャケット(救命胴衣)を身につける

服のまま水に落ちたら

- ✓ 仰向けで浮いた姿勢を保つ
- ✓ 空気をいっぱいに吸い込み、静かに呼吸する
- ✓ 服と靴は、外傷防止・保温のため脱がない

誰かが溺れたら

- ✓ 大きな声で協力者を呼ぶ
- ✓ 浮き具の代わりになるもの(ペットボトル、サッカーボールなど)を渡す



浮き身の姿勢

赤十字奉仕団支部委員会を開催

奉仕団同士の連携した活動を推進!

赤十字活動の担い手である赤十字奉仕団(赤十字のボランティア)同士の連携を図り、協働する契機とすることを目的に5月26日に開催されました。参集型で開催できたことから、活発な意見交換がなされ、参加者からは「他の奉仕団の特長を知ることができてよかった」「お互いに協力できそうな活動があった」などの声がかれました。



グループワークで情報交換を行う

静岡県有功会総会を開催

有功会はJRC活動を後押し!

赤十字の活動資金に貢献された方たちで構成される有功会の本年度の事業を決める総会が、5月30日に静岡市内のホテルで開催されました。今年度も引き続き、青少年赤十字の活動を支援する方針が承認されました。総会後には、遺贈・相続財産の寄付の推進に向けて、三遊亭楽生さんが落語を通して終活の大切さを訴えました。



人情を題材とした落語を披露した三遊亭楽生さん

日赤静岡県支部は、新型コロナウイルス感染症の感染状況に留意しながら、令和4年度の活動を着実に展開していきます。

ウクライナの人道危機における赤十字の活動

赤十字国際委員会(ICRC)は主にウクライナ国内の戦闘地域、
国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)はウクライナ周辺国の避難民を対象に活動を展開しています。

日本赤十字社の活動

緊急資金援助と救援金の募集

お寄せいただいた救援金は、ICRC、IFRCに送金し、避難民への医療や救援物資などに役立てています。

日赤全体の受付金額 >> 50億6,779万5,690円(69,487件)

静岡県支部受付金額 >> 2,342万3,788円(522件)

※令和4年6月27日現在

職員の派遣

仮設診療所の運営のためにウクライナへ、毛布・衛生用品キット等の管理のためにモルドバ共和国へ職員を派遣しています。

ウクライナ人道危機における赤十字の最新情報はこちらから

速報 ウクライナ人道危機 赤十字



(C) Tamara Vukov



(C) IFRC/Marco Kokik



(C) IFRC/Victor Lacken

PRESENT!

オリジナルマフラータオルと絆創膏を **20名様にプレゼント!**

以下を明記の上、WEB・メール・郵送でご応募ください。

- ①お名前 ②郵便番号・ご住所 ③年齢 ④赤十字しずおかVol.131のご意見・ご感想
⑤赤十字しずおかで、今後取り上げてほしい情報

※回覧でご覧いただいた方には、本号を郵送します。ご希望の方は①②を明記の上、「Vol.131希望」とお書きください。
なお、プレゼントのご応募と同時に申し込みいただく場合は、①～⑤を明記の上、応募締切日必着をお願いします。

応募方法

WEB



メール



koho@shizuoka.jrc.or.jp

郵送

〒420-0853
静岡県葵区追手町44-17
日本赤十字社静岡県支部
組織振興課

応募締切

令和4年10月31日(月)必着

当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。



保冷剤やカイロを
入れられるポケット付

※収集した個人情報につきましては、個人情報保護法及び日本赤十字社の個人情報保護規程に則り取り扱います。



日本赤十字社

静岡県支部

〒420-0853 静岡県葵区追手町44-17
TEL 054-252-8131 <https://www.jrc.or.jp/chapter/shizuoka/>



この印刷物は、みなさまからいただいた資金で作っています。